

2年生 学年だよ



期末テストも終わり、1学期も残りあと1ヶ月弱になりました。2年生になって、それぞれ学習に部活動に仲間づくりに目標を立て、それを実行してきたところでしょう。これからまだ学校生活が続いていきます。まずは1学期が終わるまで、しっかり学校生活を過ごすようにしましょう。

また、湖畔学舎を終えた翌日、君たち一人ひとりに「湖畔学舎を終えて」ということで、楽しかったことや見つかった課題などの思いを書いてもらいました。きっちりと振り返り、普段の学校生活へとつなげていき、そして、1年後の修学旅行へとつなげていきましょう。



1 組

○湖畔学舎での思い出はカヤックです。僕は人生で初めての体験でした。最初ははじめてだったので緊張していたけど、ちゃんとこげたのでよかったです。途中では水にも濡れたりしたけど、とても楽しかったです。いろいろな人とぶつかったけど、転覆しなかったのがよかったです。そして、三船君ががんばっていました。理由は、退所式のときにみんなの前でしゃべっていたので、すごいなと思いました。自分がかんばったことは特にはないけど、先生の話も静かに聞けていたのでよかったです。

また、自分の課題は、夜寝るときに大きい声でしゃべっていたので、修学旅行ではなるべく静かな声でしゃべれるように努力したいです。あと、クラスや学年の課題は、人の話を静かに聞いて、授業を静かに受けれるようにすることです。一人一人が静かにすれば、授業も静かになって、質問とかもしやすい雰囲気になると思ったからです。

○初日はカヤックやマウンテンバイクなどの体験学習がありました。その学習では、カヤックは最初なれなくて、右に行くやり方とか分からなかったけど、だんだんとわかってきて、どんどん楽しくなってきました。マウンテンバイクは13kmもこぎ続けるので、大変でした。しかし、下り道が一番、最高でした。この体験が終わると、思い出に残ったなあと思いました。また、クラスレクでは、みんなの意見もきいて自分の意見も言って、みんなの思っていることが分かってよかったです。

湖畔学舎では、いろいろ出来事がおきたりして大変だったけど、楽しかった人が多そうだったから良かったです。カレー作りも班で協力できて、最高のカレー作りでした。2年の初めての行事だったので、良い思い出になりました。一人一人が協力したらやるべきことができるから、この課題を学年で成功させたいと思いました。

○僕の思い出はカヤックです。カヤックのやり方を覚えてできるようになったので、楽しかったです。あとは、ずっと前からやると決めていた先生へのサプライズです。あと、がんばったことは勾玉作りで、一生懸命けずって作りました。完成した勾玉は、あまりうまくなかったけど、楽しかったです。他にも、カレー作りで肉を切ったり火をおこしたりしました。みんなの班よ

りすぐ火が消えてしまってスタートは遅れたけど、あまりいじらずに木くずを入れたりしたら火がついて、途中、にんじんを食べていいといわれて食べたらすごく硬くて、まだできていなかったです。一番最後にできた班だけど、僕らの班のカレーが一番おいしいと思います。また、個人の課題は、寝るときにうるさくして、迷惑をかけたことです。だから、これからは授業もうるさくなくないようにして、みんなに迷惑をかけないようにしたいです。そして、クラスの課題は、みんなで楽しくできたので、あんまりないです。学年は怪我をさせている人がいたので、それはダメだと思う。だから、それはやめた方がいいと思う。楽しい湖畔学舎でした。

2 組

○最初のバスから最後のバスまで全部が楽しかった！特に、カヤックとカレー作りが楽しかった！！カヤックは一回やったことがあったから苦戦はしなかったけど、二人でやったときはなかなか進まなくて、息を合わすのが難しかった。普段できないことを体験できたからとても楽しかった！！また、カレー作りは一から作ったから大変だったけど、班のみんなと協力しておいしいカレーが作れた！！あと、集合のとき話したりして進まなかったり、就寝のとき話したりして進まなかったり、就寝のときなかなか寝れなかったりして迷惑をかけたときもあったけど、湖畔学舎はすごく楽しい行事になった！！悪いところとかは、これからの課題にしようと思う！！

○湖畔学舎に行つての感想は、「楽しかった」です。でも、一部の人がルールを守らなかったりして、そこはちゃんとしてほしかったです。一日目はカヤックをやって、すごく楽しかったです。そのあと、ご飯を食べて、クラスレクをやりました。クラスレクは、集合は遅かったけど、みんなが集まってからは始まるのが早かったし、勝手な行動をする人もほとんどいなかったの、そこは良かったと思います。班で協力もできたし、ミーティングでは、みんな本音かはわからないけど、真剣に話し合えたと思います。2組はやればできるクラスとか、「明日は絶対、1番に静かにしよう！！」とか、みんなの思いが聞けてよかったです。クラスミーティングで2組の絆は強くなったと思います。やっぱり2組は最高です。2組がこのメンバーでよかったと心から思えだし、最高の思い出もできた、楽しい湖畔学舎でした。

○私が一日目で凄く楽しかったことはいろいろあったけど、カヤックを漕いだことです。初めてのカヤックだったので、一人乗りをしたとき、すごく怖かったです。二人でカヤックを漕いだときにはたくさん水がかかったけど、とても楽しかったです！また乗りたいなあと思いました。二日目に楽しかったことは、勾玉作りです。学年レクはできなかったけど、すごく楽しかったです。形は雫型で、谷川さんと小泉さんとおそろいにしました。時間が足りなくて、少し大きめになったけど、形はしっかり整えられたので良かったです！湖畔学舎を通して、学年の課題だなと思ったのは、「すぐに静かにして、人の話を聞くこと」です。次の宿泊学習は修学旅行です。そのときまでには、この課題を克服して、「楽しかった！！」「この学年・クラスでよかった！！」と思える行事にしたいです。皆と協力などもでき、とっても楽しかったです。

裏へと続く

3 組

○64期の良いトコと悪いトコの両方が、そのまま湖畔学舎につながったと思います。

良かったことの中でも一番良かったと思うのは、楽しむことはしっかりみんなで楽しめたことです。行きバスから帰りのバスまでみんな笑顔だったし、バラバラになってグループだけが楽しむとかじゃなくて、みんな一緒になって楽しんでいたので良かったです。「楽しむとは思いっきり楽しむ」、これは64期全員の最大の長所だと思います。だから楽しむのはいいことだと思います。

けど、度を越えてしまうと、悪いことになってしまうと思います。今回の湖畔学舎でも自分一人や一部のグループの楽しみのために、周りを傷つけたり、イヤな思いをさせたり、そういうことがあったのはとても残念でした。64期の短所が出てしまったと思います。勇気があれば注意して防げたこともあったと思います。今回の湖畔学舎でもわかったように、長所はそのまま生かし、短所はみんなが勇気を出して、一人が頑張るんじゃなくて、みんなで直していけたらと思います。

○湖畔学舎で、自分的には友達とより仲良くなれた気がします。いろんな人と楽しく話して、普段、話さないような友達ともいっぱい話しました。バスの中では盛り上がったし、サイクリング・カヤック・野外炊飯・クラスレク、全部が楽しくて思い出となりました。

でも、お菓子を持ってきている人がいるって聞いたときはびっくりしたし、疑問ばかり浮かびました。それに、火傷させた人がいることを知って、先生の話をお聞いているときに、どれだけ先生たちが湖畔学舎を一生懸命良くしようとしていたかが分かって、楽しいだけじゃダメだになって思いました。だから、これからは自分たちで周りを良く見て考えて行動していかないと、自分たちも良くなれないと思います。それで、これからのもっと楽しいことにつなげたいです。学年の課題はいっぱいあると思います。でも、今回の湖畔学舎で、「周りのことを考えられる学年」にしたいと私は思いました。

○私は湖畔学舎委員を終えて思ったことは、楽しく二日間を過ごせたことです。また、私が一番楽しかったことは、クラスレクです。なぜなら、私たち湖畔学舎委員と議員、先生たちで一生懸命考えたクラスレクを、みんな楽しそうに遊んでくれたからです。最初は一部の人が、「しょうもない」「つまらない」と言ってたけど、実際にやってみると、みんながそろって笑ってました。その部分は、湖畔学舎委員として安心しました。

でも、残念なことが起こってしまいました。お菓子を持ってきていたり、宿舎のガラスが割れたり、怪我までしてしまった人が多数います。あと、天候のせいで、二日目の学年もなくなってしまいました。でも、みんなが最後に「楽しかった」「行ってよかった」と言っていたように私は感じました。

帰りのバスでは、みんなクタクタでした。三年生にある修学旅行にはみんなで大変さ笑いたかったです。

4 組

○湖畔学舎の前日に、お菓子とかスマホとかを持ってこないでくださいって話を聞いたとき、絶対、誰かもってくるだろうなと思ったら、やっぱり持ってくる人がいて、どうして持ってくるのだろうと思いました。予想はしていたけど、思っていた人数よりもはるかに多くて、驚きま

した。違反物の他にもいろいろなことが起きて、ガラスが割れたり、枕のカバーがナイフか何かでビリビリに破かれていたり、ドアがへこんでいたり普段の64期が湖畔学舎ではしっかりしてくれるかなと思っていただけ、普段の学校生活よりもひどかったなと思いました。野外炊飯では、しっかりしてくれるかなと思ったけど、すごく後味が悪くなって、最後に学年集會みたいな感じで、嶋田先生・教頭先生・辻本先生が話している内容をみんながしっかり静かに話を聞いていたから、事の重大さを実感しているんだなと思いました。湖畔学舎委員が一生懸命考えたのに、違反物を持ってきてはいけませんと言ったのに、持ってきたりしたのは、考えた意味がないなと思いました。湖畔学舎は楽しもうと思っていたのに、違反物を持っている人がいて、全然楽しくなかったです。

○湖畔学舎での出来事で、私はスマホやお菓子を持っていきなりしてないし、持ってきている人を見たわけではないけど、持ってきていたら注意しないといけないなと思った。言い出しにくくて言えなかった人とかたくさんいたと思う。「先生に知られた」ということは言った人がいるってことだけど、持ってきた本人から「持ってきてしまった」と言っていたら、少しは違う反応になっていたかなと思う。

火傷のことは、私は見てなくて、先生から聞いて初めて知ったんだけど、もし見ていたらやめていたと思う。ケガをさせるって、いくらなんでもやりすぎだと思うし、一人ではなく、十人以上の人がケガを負っていると聞いてびっくりだし、気付いていた人がいれば、ケガを負う人も少なくなっていたと思う。ダメなことはダメ、自分だけがちがうことをしたらダメなんだと、した人は思わないとダメなんだと思う。続けてしまうのは、自分がしたこと悪さとか分かっていなくて、反省していないからだと思う。ダメなことをしている人がいたら、注意しないといけないなと本当に思った。

○湖畔学舎では楽しいことがたくさんありました。けれど、危険な場面もありました。楽しかったことは、サイクリング・カヤック、そして、部屋の仲間と話しているときが楽しかったです。カヤックでは初めて体験したので、良い思い出ができました。危険なことでは宿舎のガラスが割れたり、十数人の被害者が出た火傷のことなど、良くないこともたくさんありました。お菓子や漫画などを持ってきている人もいました。笑って済ませられないようなことがこの湖畔学舎で起こったので、悔しいです。最後に嶋田先生・教頭先生などの先生から話を聞いているときは、みんな真剣に話を聞いていたので、これからの64期生は少しずつ良くなると思いました。

*湖畔学舎当日、天候等でできなかった学年レクは、7月15日（金）3・4限に五中のグラウンドで行う予定です